

2021年度 学校法人 滋慶学園 札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

2020年度自己点検自己評価(2020年4月1日～2021年3月31日)

大項目	点検・評価項目	自己評価	評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1	優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3	3.0	□実学・人間・国際教育の「建学の理念」及び、「4つの信頼」として学生・保護者、高等学校、業界、地域の4つの対象者からの信頼獲得を目指しており、周知方法として、学外に向けてはHP、学校案内等、学生へは教育指導要領に明記して周知を図っている。	理念、目的、育成人材像についてはしっかり定まっており、会議・研修等で学園内での浸透も図っている。
	1-2 育成人材像は、業界などの人材ニーズに適合しているか	3	2.9	□業界から60名を超える数の講師を招いている。また企業や地域連携の取組みを積極的に展開している。 教育課程編成委員会での意見を参考に人材ニーズに合致したカリキュラムを構築している。	学生、業界双方のニーズを捉え、常に改善することを目指している。企業連携、地域連携に更に力を入れて取組んでいきたい。
	1-3 特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	3.0	□「業界直結の体験を通じた学び」が特色であり、具体的な教育プログラムとしては、「特別授業」「産地見学(お出かけ授業)」を積極的にカリキュラムに組み込んでいる。	産地見学については、見学した成果を活かしての制作や発表を行い、学びがフローでつながるよう構築している。特別授業では、学生に様々なタイプの「一流との出会い」を提供する事で刺激を感じてもらえるプログラムにしている。
	1-4 学校の将来構想を抱いているか	3	2.8	□学校運営の計画については、5年先を見据えた計画(5ヵ年計画)のもと、単年度の事業計画を策定している。	学校の統廃合、学校名変更、学科イノベーションを行うとともに、2023年に美容校との校舎統合を予定している。
2 学校運営	2-5 運営方針は定められているか	3	3.0	□事業計画で運営方針を定めることを重要視している。 □学校運営に関わる全ての人に周知徹底している。	研修、会議(分野戦略会議・運営会議・全体会・学科会議等)で運営方針の確認を行い、学校運営に携わる環境作りをしている。職場環境内でのコミュニケーションの向上を目指し、全ての職員の意見をしっかりと聞く体制づくりをさらに強化していく。
	2-6 事業計画は定められているか	3	3.0	□事業計画で運営方針を定めることを重要視している。 □学校運営に関わる全ての人に周知徹底している。	研修、会議(分野戦略会議・運営会議・全体会・学科会議等)で運営方針の確認を行い、学校運営に携わる環境作りをしている。職場環境内でのコミュニケーションの向上を目指し、全ての職員の意見をしっかりと聞く体制づくりをさらに強化していく。
	2-7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3	3.0	□理事会、評議員会は寄付行為に基づき適切に開催しており、いずれも必要な審議と議事録が作成されている。また、寄付行為については改定の機会が設けられている。	
	2-8 学校運営のための組織を整備しているか	3	3.0	□学校運営に必要な組織体系を整備し、それぞれの部署で役割の明確化もなされている。事業計画にこの役割表は明示され、全教職員に周知している。	事業計画に学園・学校の組織図、職務分掌を明記し、それに応じた組織運営を行っている。
	2-9 人事・給与に関する制度は整備されているか	3	3.0	□人事・給与に関する制度はすべて就業規則に明記されている。採用にあたっては学園本部を中心に採用広報や採用試験を実施、採用基準の基、厳正に実施している。 □目標管理制度に基づき、成果に応じた評価や賃金決定、人事が行われている。	採用に関しては各学校の組織上必要な人材を採用するとともに、将来を考慮した育成人材を採用している。

	2-10 意思決定システムは確立されているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 組織の意思決定に関わる会議は週1回行われており、短いパンでスピード感を持って課題発見・対策立案・進捗確認を実行している。 <input type="checkbox"/> コロナの影響が出始めた3月からはZOOMを活用し、より効率的に意思決定を行っている。	
	2-11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システムはAS400システムにて本部とも連動している。また、業務システムにより、広報、教育、就職に関する情報を一元化している。	<p>学生に関する情報管理はシステムで本部とも連動し、セキュリティ、バックアップの両面からも優れた管理がなされている。このことは出席不良から発生する中途退学防止や、経済的支援学生の早期発見につながり学生支援へとつながっている。</p>
3 教育活動	3-12 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている。 <input type="checkbox"/> 各学科の教育目標、育成人材像は、毎年業界のニーズを反映させるため、業界調査、学科調査、競合校調査、教育課程編成委員会の意見検討を行い、そこで現れる業界ニーズに応えられる教育目標、育成人材像を設定している。	<p>人材ニーズの変化や業界そのものの変化に伴う学科の養成目的・教育目的の見直しやカリキュラムの再構築を行っている。運営会議・学科会議において運営状況をチェックする機能を持っている。</p>
	3-13 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 各学科の修業年限と就職で求められる力を勘案しカリキュラムを編成し、継続して働くことのできる力を身に着けることを第一に科目群を編成している。到達レベルは教育目標・学年目標・学期目標・科目目標を設定しレベルを満たしているかを図る定期試験を設定している。	<p>目標を長期・短期で設定し目標に向けての目標設定を学生自らが設定するポートフォリオを活用している。学生が主体的に学習する動機づけをし学習成果に結び付けている。</p>
	3-14 カリキュラムは体系的に編成されているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> カリキュラムの編成に関しては、3つの教育システム(PCP教育システム、CPI教育システム、MMPプログラム)によって、体系的な形が保たれている。 <input type="checkbox"/> 上記より、学科のスタート(入学前)からゴール(卒業後、就職)までに必要な学習内容と学習期間、及び学習ステップを勘案したカリキュラム体系を構築できていると考える。	<p>学科長、スペシャリストが主としてコーディネートしている。カリキュラム構築のプロセスとして、地域特性と流行をミックスさせた業界コラボを取り入れた授業展開、顧客の価値＝教育目標＝養成目的の構築と教育システムの見直しなどその年度にあったカリキュラムを提供できる体制になっている。</p>
	3-15 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 教育目標に照らし合わせ、学期ごとに到達目標を設定し、設定している。	<p>シラバスは学科長、学科に所属するスペシャリストとシラバス作成講師が相互にチェック機能を持って作成している。</p>
	3-16 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 学園独自のテキストに基づき、必要な能力を明確化し、その定義に沿って教育プログラムを実践している。	<p>人と接することがキャリア教育の本質であるため、学生が「人」と直接かかわる機会がコロナ禍の為減少したことにより経験の蓄積が課題</p>
	3-17 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 授業アンケートを年間2回実施し、その都度フィードバックを実施している。	
	3-18 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 法定科目はコンプライアンスに沿って、一般科目は経験で選任している。	<p>履歴書・資格書の提出を持って確認している 業界での経験を重視し適合しているかを確認している 業界講師や業界に人材の紹介を依頼している</p>
3-19 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 外部講師による研修と教育提携校の研修を受講している。 <input type="checkbox"/> 学生指導、支援に関わる学園の研修を実施している。	<p>研修に力を入れており、各校の分野教員で教授力向上を目指した教員研修を実施している。業界のプロ向け研修を積極的に招致し教員が参加することにより技術研修をしている。</p>	

	3-20 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 試験規定を作成し、その基準に準拠し公正公平に評価している。 <input type="checkbox"/> 進級や卒業については判定会議を実施している。	
	3-21 資格取得の指導体制はあるか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 業務役割分担表に担当スタッフを選任し、複数の担当教員と連携し、受験をマネジメントしている。	希望学生に対しては、補講等の受講スケジュールを案内している。
4 教育成果	4-22 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	2.8	<input type="checkbox"/> キャリアセンターを中心に組織体制を整備している <input type="checkbox"/> 卒業年次生の担任とキャリアセンターで随時連携体制を構築している <input type="checkbox"/> 共通のファイルで常に閲覧可能な状態である <input type="checkbox"/> 就職セミナー・就職説明会を開催している <input type="checkbox"/> 履歴書指導・面接指導は就職講座と個別指導で実践している <input type="checkbox"/> 個別面談は随時行っており適切に対応している	【姉妹校間の求人情報の活用】全国各地のベルエポック製菓調理系専門学校3校の求人情報がキャリアセンターで閲覧することができる。各校で同じ分野の求人を共有することができ学生が多くの情報を得ることができる。また求人を見逃すことなく活用することができる。東京への就職支援の充実。 【学内企業説明会の実施】企業の採用時期に合わせて開催し、学校に採用の担当者をお呼びし、面接試験などを行っている
	4-23 資格取得率の向上が図られているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 資格所得目標を設定している <input type="checkbox"/> 必修資格はカリキュラムに対策講座を組み込み、選択資格は放課後に対策授業を実施している <input type="checkbox"/> 比較を行っており国家試験は全国でもトップクラスの合格率である <input type="checkbox"/> 国家試験対策会議を定例で実施し改善を図りながら指導している	国家資格の合格率を向上させるため ① 国家試験対策センターと連携し、専属スタッフを中心に学生分析と問題解決を行っている。 ② 職員研修を実施し、毎年国家資格受験対策に関する総括、問題の洗い出しと対策立案を実施している。 ③ グループ校の同学科で構成される教育部会を設置し、100%合格のための仕組み作りに全力を注いでいる。
	4-24 退学率の低減が図られているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 中途退学者の傾向・分析を毎年教務部長中心に総括している <input type="checkbox"/> 学生指導の履歴を月2回状況表に記入し保存している <input type="checkbox"/> SSCと連携し学生支援体制を構築している <input type="checkbox"/> グループ校合同で学習支援センターを設置している	課題を抱える学生に関しては、担任→学科長→教務部長→学校責任者と重層的に支援・指導体制を取っている。
	4-25 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	2.6	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況の履歴を残している <input type="checkbox"/> 卒業生への就職相談に常に応じている <input type="checkbox"/> 同窓会と同時日程で講座を開講している <input type="checkbox"/> コンテスト対策などの支援を行っている	卒業後の離職調査をし、離職理由を分析し育成に取り入れている。また、近年開業した卒業生の情報を集約し、HP等で紹介している。 【課題】離職率が高い。
5 学生支	5-26 就職に関する体制は整備されているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> キャリアセンターを中心に組織体制を整備している <input type="checkbox"/> 卒業年次生の担任とキャリアセンターで随時連携体制を構築している <input type="checkbox"/> 共通のファイルで常に閲覧可能な状態である <input type="checkbox"/> 就職セミナー・就職説明会を開催している <input type="checkbox"/> 履歴書指導・面接指導は就職講座と個別指導で実践している <input type="checkbox"/> 個別面談は随時行っており適切に対応している	フローでの就職支援の体制が構築されており、全体での就職活動における就職支援は適切に行われている。週に1コマ就職講座を開講し、段階的に就職の準備が活動に生かされている。しかし学生が持つ就職意識には個人差があり、特に自分の就職に対し考えがまとまらない学生への支援体制に工夫を要する。
	5-27 学生相談に関する体制は整備されているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> SSCを含むトータルサポートセンターにおいて支援体制を構築している <input type="checkbox"/> 担任授業内やポスター・カードにより学生への案内している <input type="checkbox"/> 相談記録は閲覧を制限する形で保存している <input type="checkbox"/> カウンセラーの見立てによって適宜促しをしている <input type="checkbox"/> 卒業生には必要に応じて対応している	全教職員が「JESCカウンセラー資格」を取得している。
	5-28 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 必要に応じて滋慶特別奨学金の活用を行っている、また大規模災害時や家計急変時には適宜支援している <input type="checkbox"/> 募集要項に減免制度を明記し運用している <input type="checkbox"/> 公的支援制度を適切に活用し適切に利用するように学生指導している <input type="checkbox"/> 学生・保護者に適宜文書と口頭で情報提供している <input type="checkbox"/> 経済支援制度の利用一覧を作成し実績をリアルタイムで把握している	高等教育機関の修学支援対象校に認定された。
	5-29 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 健康診断を計画的に実施し、有所見者の再健診を徹底している <input type="checkbox"/> 学校医を選任している。 <input type="checkbox"/> 学内に専門職員は配置していないが近隣に提携医療機関を配置。 <input type="checkbox"/> 定期検診・再検診について適切に対応している	健康診断の一次検診で問題が発見された学生は、二次検診を受診させており、更に判定内容によっては、一般的なレベルよりも高いレベルで治療を義務付けている。今後は二次検診の受診完了までの時間を早めることが課題である。

援	5-30 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> クラブ活動はないが、放課後練習の課外活動を支援している。 <input type="checkbox"/> クラブ活動の一環として、接客スキルとサービスマインドを体験を通して学ぶ「学生スタッフ」活動を組織し運営している。	
	5-31 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学生寮を整備している <input type="checkbox"/> 寮長とは連携をとっており必要事項の共有を行っている <input type="checkbox"/> 寮提出の資料により明確になっている	定期的に寮会議を実施し、寮と学校との連携を図っている。また欠席連絡等、教務との連絡体制も構築されている。
	5-32 保護者と適切に連携しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 計画的に保護者便りを送付している。また行事への参加を積極的に働きかけている <input type="checkbox"/> 保護者に向けた公開授業並びに保護者会を開催している。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて保護者に連絡し面談の内容の記録は保存している <input type="checkbox"/> 緊急連絡先をファイルしている	
	5-33 卒業生への支援体制はあるか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況の履歴を残している <input type="checkbox"/> 卒業生への就職相談に常に対応している <input type="checkbox"/> 同窓会と同時日程で講座を開講している <input type="checkbox"/> コンテスト対策などの支援を行っている	卒業後1年以内の離職0%を目指し、卒業生の離職率の低減を図ることが今後の課題である。
6 教育環境	6-34 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 施設設備は毎年整備し且つ法令も遵守している <input type="checkbox"/> 図書や実習機材器具についても整備している <input type="checkbox"/> 専門図書を増書している <input type="checkbox"/> 休憩の学生ホールを整備しまた、昼食の教室を時間割に明記している <input type="checkbox"/> バリアフリー構造にしている <input type="checkbox"/> 手洗いは常に行い食中毒などの感染症の予防に努めている <input type="checkbox"/> 卒業生にも希望に応じて施設を貸し出している <input type="checkbox"/> 施設設備の点検は専門の業者に委託し不具合箇所は都度対応している	施設・設備のメンテナンスは専門のグループ企業が担当している。施設管理専門スタッフが常駐し、日々校舎のメンテナンスを行う体制となっており、学生の教育環境の維持に努力している。
	6-35 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 教育、就職スケジュールの中で重要性や意義、目的を明確にしている <input type="checkbox"/> 企画書、実習ノートを整備し適切に運用している <input type="checkbox"/> 企業に受入れていただき研修を実施している <input type="checkbox"/> 現場力育成の定義に則り5段階で評価していただき、規定日数の実習実施と報告書の提出を持って評価している <input type="checkbox"/> 各実習先に担当の教職員が実習期間中に訪問する <input type="checkbox"/> 評価表と実習日誌の表記内容を確認し、教育効果を確認している <input type="checkbox"/> 学生が自ら考える機会を考慮し、行事に参画させている <input type="checkbox"/> 目的に沿って対象を吟味し案内している	学内での国際教育として、国際機関の特別授業を実施している。さらに製菓・調理師科はフランス人講師イタリア人講師を通常授業に招聘、恒常的に国際教育を実践している。海外研修はハイレベルな教育機関で実習を取り入れ、学習成果の高いプログラムを構築しているが学生の参加率が課題である。
	6-36 防災に対する体制は整備されているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学園がクイズ、職員に対しての防災マニュアルの配布し施設内に避難誘導図の掲示し整備を行っている。 <input type="checkbox"/> 耐震構造の建物である <input type="checkbox"/> 定期的に点検し改善を行っている <input type="checkbox"/> 避難訓練とAED研修を年1回消防の立会いのもと実施している <input type="checkbox"/> 学生教員に危害が及ぶ可能性が有るものについては安全管理対策をしている <input type="checkbox"/> 学生、教職員に避難訓練を通じて防災教育を実施している	学生との連絡体制も充実しており、災害時には早急な確認が取れるシステムを構築している。また災害時には学園全体で緊急災害対策本部を設置し、事態の掌握に努めている。
7 学生の募集と受け入れ	7-37 学生募集活動は、適正に行われているか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 適切な募集活動を行なっている。 <input type="checkbox"/> オープンキャンパスを開催し、常に来校して相談できる環境を整えている。全教職員に対して広報に関する勉強会を実施し、誰でも対応できる体制にしている。 <input type="checkbox"/> 学校案内等において具体的な就職データ、資格取得データを明記し、正確に情報を伝えている。 <input type="checkbox"/> 校内に個人情報保護委員会を設置し、管理と研修の徹底を図っており、日本プライバシー認証機構の個人情報管理者研修プログラムのライセンスを取得している。	
	7-38 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> ホームページ、学校案内等において具体的な就職データ、資格取得データを明記し、正確に情報を伝えている。	各時期で実施している入学試験の各データを管理、分析しており入学者の傾向や対策を講じることで入学試験の対策として活用している。また、出願率や入学人数の予測管理から財務計画を策定している。
	7-39 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 入学選考基準・方法は学則及び募集要項に明記している。 <input type="checkbox"/> 入学試験後に全学科長及び学校責任者、広報責任者により構成される、「選考会議」で基準に基づいて公平に可否を確定している。	

	7-40 学納金は妥当なものとなっているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学納金は適正かつ妥当なものと考えており、その納付金額、方法に関する情報も適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 入学辞退に関しては募集年度の3月末までに辞退意志の明示があった場合は入学金を除く全額返金している。	募集要項上において年間必要額を明示するため、受験生や保護者にとっては、年間支出額が把握できるため、計画を立てやすいという利点がある。また、受験生に対しては、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローン、の案内をするなど、学費負担者の立場に立ってのアドバイスを実施している。
8 財務	8-41 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 5か年の中長期的事業計画を立て、その中で収支計画を作成している。5か年計画を立てることによって、短期的視点だけでなく中長期的な視点に立って学校運営を計画することになる。	
	8-42 主要な財務数値に関する分析を行っているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 現年度の収支に関しては、数値を一ヶ月ごとに算定し、学園本部によるチェックがあり適正な予算管理がされている。	近年、18歳人口の減少、就職状況の良化から、学生募集が厳しくなっている。転校、転科学生の対応も強化しながら、しっかりと定員が集まる学校づくりにより一層注力が必要である。
	8-43 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 5ヶ年計画を策定し、各年度の実績と対比し、課題発見、改善計画に繋がれるよう、学園本部と連携を図っている。	今後に向けての課題は、競争力のある教育内容と、それに見合った学費の設定である。今後は他校との差別化に注力する必要がある。
	8-44 予算計画に基づいた適正な執行管理ができていますか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学校現場のみならず、学園本部とも協議しながら予算作成を実施し、毎月財務部門の担当が執行状況をチェックし、現場にフィードバックする体制が敷かれている。	
	8-45 私立学校法および寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学校法人滋慶学園は公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。	
	8-46 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 財務情報公開規程および情報公開マニュアルを作成し、財務情報公開体制を整備している。	教職員に対する更なる勉強会、研修会を実施し、全体レベルの底上げを目指したい。
9 法令等の遵守	9-47 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 法人において、法令や設置基準の遵守に対する方針を「コンプライアンス推進規程」として整備し、届出等を適切に実施している。 <input type="checkbox"/> ハラスメント防止に関する規定を就業規則に明記している。 <input type="checkbox"/> 学生においては特に実習前などに法令遵守についての講習を行なっている。職員に対しても研修を行なっている。	コンプライアンスに関する専門の窓口を開設し、教職員への法令遵守啓蒙活動や運営状況のチェック等を行っている。省庁からの通知、告示や制度変更や社会問題に対しても常に情報を網羅できる体制を構築するように努めている。
	9-48 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 個人情報情報は、校内に個人情報保護委員会を設置し、厳重に管理し、研修の徹底を図っている。 <input type="checkbox"/> サイトの運用にあたっては、TRUSTeプライバシー・プログラムのライセンスを取得し、適正に行なわれている。	全教職員はTRUST-eより年に一度研修を受けており、運営体制の強化を図っている。
	9-49 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 自己点検・自己評価に関しては、開校以来、毎年度末に事業計画に基づいた総括を実施し、収支バランスや、教育力、就職力、広報力について数字結果から点検を実施し、問題発見できたことは、次年度の課題として引継ぎ、その課題を克服する事業計画を作成し、その改善に努めている。	厚生労働省等の発行する学科自己点検表の活用によりそれぞれの学科運営状況を客観的にチェックし改善に役立てている。
	9-50 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 自己点検・自己評価の情報公開については、学校ホームページに「情報公開」というページを作り、公開している。	情報公開アドレス(本校HP) http://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou ※2020年度結果は7月中旬に掲載予定。
	9-51 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 職業実践専門課程の認定を受けており、学校関係者評価の目的や意義については十分に理解している。	学校関係者評価は教職員全体で共有し、改善が必要な事項については対策をたて取り組んでいる。

	9-52 学校関係者評価を公開しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 評価の結果をまとめ、HPIにも公表している。	情報公開アドレス(本校HP) http://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou ※2020年度結果は7月中旬に掲載予定。
	9-53 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> HP上のみならず学校案内にも掲載して教育内容を紹介している。	情報公開アドレス(本校HP) http://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou ※2020年度結果は7月中旬に掲載予定。
10 社会貢献	10-54 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> 学園のミッションに「業界の信頼」「地域の信頼」「業界の信頼」を掲げており、学校をあげて積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 実績として、調理師科の北海道・別海町とのホタテを使ったレシピ開発、羽幌町の甘エビ普及活動などの実績があり今後も継続していく。 <input type="checkbox"/> 地域へは、年6回の学内販売実習でケーキ販売等で開放。業界へは、子供料理教室などの会場として提供、卒業生へは日々、技術練習のために実習室及び就職情報提供のため、キャリアセンターを開放している。 <input type="checkbox"/> 中学・高校生の総合学習での授業を実施した。 <input type="checkbox"/> 北海道私立専修学校各種学校連合会が主催する「北海道まちかど学園」の講座として登録した。	新型コロナウイルス感染拡大により、規模縮小、オンラインに切り替えて実施をするケースもあった。
	10-55 国際交流に取り組んでいるか	3	2.9	<input type="checkbox"/> 建学理念の一つに『国際教育』を掲げており、学園を上げて国際交流に取り組んでいる。カリキュラムにも反映させ、留学生の受入れも積極的に実施している。	
	10-56 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3.0	<input type="checkbox"/> ボランティア活動は授業の一環でまたは課外活動の一環として実践している。	支援という点では弱い部分があるので今後はさらに強化していく必要がある。